

企業のサステナビリティと組織のレジリエンス (2017年度オンライン調査結果から見た日本企業の現状)



時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また平素よりご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

PwCあらた有限責任監査法人では、このたび「企業のサステナビリティと組織のレジリエンス」に関するセミナーを開催いたします。当社は2016年より、リーダーシップアカデミーTACLとの協働により、日本企業の今後の中長期的な成長において、その重要な要素となるであろう「コーポレートサステナビリティのビジネスアプローチ」および「組織のレジリエンス」について継続的に調査研究を実施しております。この調査研究において、今年も昨年同様、一部上場企業に勤める方々を対象とした調査を実施いたしました。(19業種の一部上場企業、一般社員2300名強が対象)

急速に変化する市場環境やメガトレンドに対応するため、企業には従来のCSRを超えた「コーポレートサステナビリティ」の実践と、「組織のレジリエンス」の改善が求められています。そこで、本セミナーでは当社が実施した調査結果に基づく日本企業の現状をご報告いたします。また、外部講師として株式会社LIXILグループ 元取締役副社長 八木洋介氏をお招きし、組織改革と人材開発の観点から日本企業の課題とその対応策についてご講演いただきます。パネルディスカッションでは、日本国内におけるサステナビリティ先進企業の一つである本田技研工業株式会社 経営企画統括部長の木村晃氏もお招きし、日本企業がコーポレートサステナビリティを実践し、組織のレジリエンスの向上を推進する上での課題やその対応策を探索いたします。

ご多忙中とは存じますが、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

PwCあらた有限責任監査法人
サステナビリティサービスリーダー 三橋優隆

開催概要

- 日時: 2017年7月7日(金) 14:30～17:10 (14:00開場)
- 場所: PwCあらた有限責任監査法人 大手町オフィス セミナールーム
東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング 15階
(アクセス:<http://www.pwc.com/jp/ja/assurance/corporate/map-otemachi.html>)
- 定員: 100名
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- 対象: 企業の経営企画、サステナビリティ/CSR、人事などの部門の方
※同業種の方からのお申し込みはお断りします。
- 言語: 日本語
- 費用: 無料(事前登録制)
- プログラム: 裏面をご参照ください
- お申し込み: 以下ウェブサイトよりお申し込み下さい。
<http://www.pwc.com/jp/seminar1>
- お問い合わせ: PwCあらた有限責任監査法人セミナー事務局
担当: 小野・堀内
E-mail: pwc.seminar.mailbox@jp.pwc.com

■個人情報の取り扱いについて

お申し込みの際にご記入いただきました個人情報は、PwCあらた有限責任監査法人の個人情報保護方針に従って適切に管理いたします。詳細の取り扱いについては、PwCあらた有限責任監査法人のウェブサイトの個人情報保護方針(<http://www.pwc.com/jp/ja/japan-sitemap/japan-privacy/assurance.html>)をご覧ください。

「企業のサステナビリティと組織のレジリエンス」セミナー プログラム

時間	内容	講演者
14:00-14:30	開場/受付	
14:30-14:40	開会のご挨拶	PwCサステナビリティ合同会社 アドバイザー ピーター D. ピーダーセン 氏
14:40-15:25	コーポレートサステナビリティと組織のレジリエンスに関する日本企業調査の結果報告 ・サステナビリティ／CSRに関する意識調査結果 ・企業のレジリエンスに関する調査結果(一部上場企業19業種、2300名強を対象とした調査) ・調査結果に関する質疑応答	リーダーシップアカデミーTACL代表／ PwCサステナビリティ合同会社 アドバイザー ピーター D. ピーダーセン 氏 PwCあらた有限責任監査法人 シニアマネージャー 田原英俊
15:25-15:45	レジリエントな組織形成は、人材の「軸」の発見から始まる	株式会社people first 代表取締役 八木 洋介 氏
15:45-16:10	コーヒープレーク	
16:10-17:00	パネルディスカッション 「日本企業の中長期的な成長における課題と挑戦」	本田技研工業株式会社 経営企画統括部 部長 木村 晃 氏 八木 洋介 氏 ピーター D. ピーダーセン氏 モデレーター:三橋 優隆
17:00-17:10	閉会のご挨拶	PwCあらた有限責任監査法人 サステナビリティサービスリーダー 三橋 優隆

※プログラム内容、講演者については変更となる場合がございます。予めご了承ください。

講演者のプロフィール



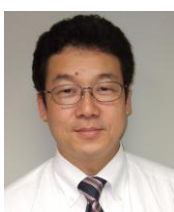
ピーター D. ピーダーセン 氏

PwCサステナビリティ合同会社 アドバイザー、リーダーシップ・アカデミーTACL代表として、様々な日本企業のリーダー層に対して、研修プログラムと経営ツールを提供している。近著『レジリエント・カンパニー』(東洋経済新報社)では、組織としてのレジリエンスを高めるフレームワークとして「新しいトリプルA経営」を提唱している。2000年に環境・CSRコンサルティングを手掛けるイースクエアを三菱電機アメリカ元会長の木内孝氏とともに設立し、数百にわたるプロジェクトやコンサルティング案件に携わった経験を有する。その他著書に、『LOHASに暮らす』(ビジネス社)、『第5の競争軸』(朝日新聞出版)などがある。コペンハーゲン大学卒。



八木 洋介 氏

1955年生まれ。1980年に京都大学 経済学部 卒業、1992年にマサチューセッツ工科大学スローン経営大学院MS取得。1980年に日本鋼管株式会社(現JFEスチール株式会社)入社。1996年から1998年までNational Steel Corporationに出向(CEO補佐)。1999年にGE横河メディカルシステム株式会社入社。2002年から2004年までGE Medical Systems Asia、2005年から2008年までGE Money Asia、2009年から2012年までGE Japanにて責任者として人事などを担当。2002年より日本ゼネラル・エレクトリック株式会社取締役。2012年株式会社住生活グループ(現 株式会社LIXILグループ)執行役副社長 人事・総務担当。2017年株式会社people firstを設立して、代表取締役(現任)。2017年株式会社ICMG取締役 及び 株式会社 IWNC 代表取締役会長(現任)。



木村 晃 氏

1986年に本田技研工業株式会社に入社。事業所・本社での人事部門の経験を経て、2003年から2008年、欧州地域統括会社(ホンダ・モーター・ヨーロッパ)に人事・法務責任者として駐在。2008年から2011年、秘書室長を経て、2011年から2013年にアジア大洋州地域統括会社(エイシアン・ホンダ・モーター)人事労政責任者として駐在。2013年より経営企画部長。全社の長期ビジョン・中期計画と戦略策定プロセスの策定・改革を担う中で、サステナビリティの取組を強化し、サステナビリティ企画部を経営企画統括部内に立ち上げた。2017年より経営企画統括部長兼務。1986年東京大学文学部卒。